

日本エネルギー環境教育学会第12回全国大会(美浜町きいばす) 会場・セッション配置

8/19(土)	S会場 2Fきいばすホール	A会場 1Fきいばすラボ	B会場 1F工作室	C会場 1F情報ライブラリー	D会場 2F実験室	E会場 3Fスタッフ室	展示 1F・2F	休憩所 2F(3室)
	展示:1F地域交流ルーム、2F体験ギャラリー 休憩所:2F休憩室、調理実習室、キッズルーム							
9:00	受付							
9:30								
10:00		調査・評価 ①	教材開発 ①	カリキュ ラム	授業実践 ①		展示	休憩
10:30								
11:00		調査・評価 ②	教材開発 ②	普及活動	授業実践 ②			
11:30								
12:00								
12:30						理事会		
13:00								
13:30	総会							
14:00								
14:30	特別講演 基調講演							
15:00								
15:30								
16:00								
16:30	パネル 討論会							
17:00								
17:30								
18:00								
18:30	情報交換会							
19:00	(美浜町エネルギー環境教育体験館きいばす館内(エントランスホール・渡り廊下・休憩デッキ))							
19:30								

8/20(日)	S会場 2Fきいばすホール	A会場 1Fきいばすラボ	B会場 1F工作室	C会場 1F情報ライブラリー	D会場 2F実験室	E会場 3Fスタッフ室	展示 1F・2F	休憩所 2F(3室)
	受付							
9:30								
10:00	課題1-① アクティブラー ニングによるエネ ルギー環境教育の 展開例	課題2-① エネルギー環境 教育の「4つの課 題」を紐解く提 言、実践の開発	課題3-① 学校と家庭、地域 が取り組むエネ ルギー環境教育	授業実践 ③	ワークショップ ①～③		展示	休憩
10:30								
11:00								
11:30	課題1-② アクティブラー ニングによるエネ ルギー環境教育の 展開例	課題2-② エネルギー環境 教育の「4つの課 題」を紐解く提 言、実践の開発	課題3-② 学校と家庭、地域 が取り組むエネ ルギー環境教育	調査・評価 ③	ワークショップ ④～⑥			
12:00								
12:30								
13:00		広報委員会/ 国際交流委員会	編集委員会/ 企画調査委員会	実践委員会				
13:30								
14:00	発電所見学会 ・美浜発電所 ・もんじゅ (13:30～15:00)			きいばすの 自由見学 (～15:00)				
14:30								
15:00								
15:30								
16:00								

日本エネルギー環境教育学会第12回全国大会プログラム

会場：美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」

注：発表時間 1題目20分（口頭発表15分・質疑応答5分）

8月19日（土）

S 会場	基調講演 特別講演	14:00～15:50		座長：葛生伸（福井大）	
		1S-01	恐竜博物館と学校教育のかかわり	小島啓市（福井大学大学院教育学研究科教職開発専攻）	
		1S-02	見える水、見えない水を通した里山・里地・里海のつながり	富永修（福井県立大学海洋生物資源臨海研究センター）	
	パネル討論会	16:00～17:30		座長：安藤雅之（常葉大）	
		1S-03	校区に原子力発電所が「ある」小学校におけるエネルギー環境教育	木子雅之（美浜町立美浜東小学校）	
		1S-04	理科授業におけるエネルギー環境教育－アーギュメントスキルの獲得とのコラボレーション－	土屋善之（島田市立島田第二中学校）	
		1S-05	自然と共生した縄文時代をテーマとしたエネルギー環境教育－若狭三方縄文博物館の事例紹介－	小島秀彰（若狭三方縄文博物館）	
A 会場	調査・評価①	9:30～10:30		座長：清水洋一（琉球大）	
		1A-01	LEDの思わぬ落とし穴？	○加藤進、紀平征希（三重大学伊賀研究拠点）	
		1A-02	カードゲーム「回路の達人」の開発とその教材化	○月僧秀弥（坂井市立丸岡南中学校・東京理科大学大学院）、浅原雅浩（福井大学教育学部）、本谷匠、松本拓也、西行大志（福井大学大学院教育学研究科）、三好雅也、西沢徹、大山利夫（福井大学教育学部）	
		1A-03	電気エネルギーに関する教材の開発 やじろべえモーター・浮遊モーター・「フレミングの左手の法則」を作図で解く	○塚平恒雄、道家瑞穂（早稲田摂陵中学校・高等学校）	
	調査・評価②	10:40～11:40		座長：今村哲史（山形大）	
		1A-04	理科教員養成課程における放射線教育の教材開発－100均ショップでできる「霧箱」のマイクロスケール実験など－	○寺木秀一、小長谷幸史（新潟薬科大学）	
		1A-05	熱エネルギーに関する教材「ロケット発射」の開発 エネルギーの無駄使いから省エネを考える	○道家瑞穂、塚平恒雄（早稲田摂陵中学校・高等学校）	
		1A-06	結晶系太陽電池モジュールの手作り活動の教材化－製作体験を通して学ぶエネルギー－	庄司洋一（山形県立村山産業高等学校）	

B会場	教材開発①	9:30～10:30		座長:寺木秀一(新潟薬科大)	
		1B-01	石炭業界の環境問題への取組 ークリーン・コール・テクノロジーー	富田新二(一般財団法人石炭エネルギーセンター)	
		1B-02	わが国の新しい石油産業体制と石油産業政策 ー石油安定供給体制の再検討ー	橋爪吉博(石油情報センター)	
		1B-03	構造モデル化手法を用いた エネルギー環境問題 の全体像把握方法の検討 ー風力発電の諸問題 を題材にー	○村吉範彦(京都大学大学院)、森下 和功(京都大学)、岩切宏友、松田康 汰(琉球大学)	
	教材開発②	10:40～12:00		座長:月僧秀弥(丸岡南中)	
		1B-04	ライフサイクル思考に基づく環境教育の効果の違いに関する予備的分析	中村洋(地球・人間環境フォーラム)	
		1B-05	中高理科における放射線教育と大学生の理解度 調査について	○濱田栄作、坂下奈奈穂(琉球大)	
1B-06		タイと日本の中学生のエネルギーリテラシー調査	○秋津裕、石原慶一、奥村英之(京都 大学大学院エネルギー科学研究科)		
	1B-07	エネルギー教育モデル校実践報告書のテキスト 分析	○小林光貴、島崎洋一(山梨大学)		
C会場	カリキュラム	9:30～10:30		座長:八田章光(高知工科大)	
		1C-01	新学習指導要領におけるエネルギー文化教育の 可能性ー小学校社会科を中心にー	立花禎唯(高槻市立高槻小学校)	
		1C-02	エネルギー教育パッケージプログラム:カリキュ ラム化の試みⅠ	○平田文夫(北海道大学エネルギー 教育研究会)、三木直輝(札幌市立石 山南小学校)、菅野英人(札幌市立新 琴似緑小学校)、増谷忍(札幌市立上 白石小学校)	
		1C-03	エネルギーの流れを中心とした電磁気学の統一 的理解ー電気回路と電磁場の統一的理解に向け てー	出口憲(常葉大学教育学部)	
	普及活動	10:40～12:00		座長:出口憲(常葉大)	
		1C-04	リスク教育の基本情報Ⅵ:放射性セシウムの粘土 への吸着と稲作	杉山憲一郎(北海道大学エネルギー 教育研究会)	
		1C-05	公開講座「やってみよう ソーラーカー手作り教室」 の報告	○中村孝史、山本幸男(福井工業高 等専門学校)	
		1C-06	次世代層への環境・エネルギーに係る“出前授 業”の取組みー日本原電 敦賀事業本部の活動 報告ー	○神谷昌伸(日本原子力発電(株)地域 共生・広報室)、松葉憲明、池田龍 子、田辺かおり、森丈男、桑室直俊 (日本原子力発電(株)敦賀事業本部)	
		1C-07	エネルギー工学の教育プログラムーエネルギー 工学専攻の創設とエネルギー資源工学ー	八田章光、大木瑞彰(高知工科大学)	
D会場	授業実践①	9:30～10:30		座長:小鍛冶優(志比小)	
		1D-01	持続可能な社会を目指す中 3 理科・社会科の連 携した授業実践 ー2030 年の北海道の電源構成 を考える学習を通してー	○森山正樹、大石広大(札幌市立白 石中学校)、佐藤深(札幌市立北栄中 学校)、芳賀大二郎(札幌市立屯田北 中学校)	
		1D-02	女子大学の環境情報系学科におけるエネルギー 環境教育	菅野元行(実践女子大学生生活科学 部)	
		1D-03	統一カリキュラムに基づく美浜西小学校の実践ー エネルギー環境教育体験館(きいぱす)の活用を 通してー	西川真優(美浜町立美浜西小学校)	

D会場	授業実践②	10:40～12:00		座長:石川直彦(関町小)
		1D-04	島根大学教育学部附属中学校における放射線教育(6)－遮蔽実験の再検討－	○山代一成(島根大学教職大学院)、 栢野彰秀(島根大学教育学部)、野崎朝之、大山朋江、園山裕之(島根大学教育学部附属中学校)、高橋里美(松江市立第三中学校)
		1D-05	島根大学教育学部附属中学校における放射線教育(5)－霧箱の線源変更などの教材の変更を加えた授業実践－	○野崎朝之、大山朋江、園山裕之(島根大学教育学部附属中学校)、高橋里美(松江市立第三中学校)、栢野彰秀(島根大学教育学部)
		1D-06	技術者倫理科目の中での「みらいにつながる世の中づくり」教育－よりよい生き方をするために技術者倫理教育の一環としてのESDの試み－	葛生伸(福井大)
		1D-07	エネルギー環境教育 美浜中央小学校の実践－2年生 生活科の授業を通して－	山田倫也(美浜町立美浜中央小学校)

8月20日(日)

S会場	課題1① エネルギー環境教育の展開 アクティブラーニングによる	9:30～10:50		座長:渋澤文隆(帝京大)
		2S-01	アクティブラーニングを活用したエネルギー環境教育の実践－義務教育を意識し中学校3年間を見通した提案－	青木久美子(世田谷区立千歳中学校)
		2S-02	小学校におけるESDにもとづいたエネルギー環境教育の実践－身近なエネルギー問題から地球環境を考えよう－	○中井精一(大阪教育大学)、橘淳治(はつしば学園小学校)
		2S-03	持続可能な社会を目指し、主体的に実践する児童を育てる工夫	鈴木東(鹿谷市立寿北小学校)
		2S-04	アーギュメントを主体とした反転授業でのエネルギー環境学習	○萱野貴広(静岡大学教育学部)、土屋善之(島田市立島田第二中学校)
	課題1② エネルギー環境教育の展開 アクティブラーニングによる	11:00～12:20		座長:萱野貴広(静岡大)
		2S-05	リスクコミュニケーションを軸としたエネルギー環境教育の実践と課題－小学校における原子力・新エネルギー・化石燃料の学習－	○橘淳治、中井精一(はつしば学園小学校)
		2S-06	高レベル放射性廃棄物の処分問題に関する教育分野での試み－ディベート手法を用いた理解促進－	○加来謙一、江崎久美子、鈴木俊輔(原子力発電環境整備機構)
		2S-07	大学と高等学校が連携した実践的環境教育の取組－緑化活動とエネルギー教育を中心に－	○高野拓樹(京都光華女子大学)、松原久(京都府立北稜高等学校)
		2S-08	タブレット型端末を利用した再生可能エネルギーの学習活動－再エネキャラクターCM作り－	中野佳昭、○持田政治、桂岳史、山本夕貴(常翔学園中学校・高等学校)

A会場	課題2 ① エネルギー環境教育の「4つの課題」を紐解く提言、実践の開発	9:30～10:50 座長:山本照久(加古川市教委)	
		2A-01	エネルギー変換効率について考える 上原文典(旭川市立北星中学校)
		2A-02	実感として捉えるエネルギー教育～製作実習を活かした授業づくり～ 吉川裕之(奈良女子大学附属中等教育学校)
		2A-03	自ら考え、行動し、豊かな未来を創造する子どもの育成～エネルギー教育モデル校の3年次の実践～ 古澤拓也(大分市立碩田学園)
		2A-04	技術科における未来の電源構成を選択させる授業実践の検討 ○藤本登(長崎大学)、高倉健太郎(中間市立中間南中学校)
	課題2 ② エネルギー環境教育の「4つの課題」を紐解く提言、実践の開発	11:00～12:40 座長:藤本登(長崎大)	
		2A-05	エネルギー環境に対して自ら考え判断できる児童の育成ーものづくりや実験体験を通してー ○梅田智史、江尻陽子(いわき市立好間第二小学校)、石川哲夫(いわき明星大学)
		2A-06	エネルギー教育モデル校における4つの課題への実践を検証ー加古川中学校3年間の経年変化からみえてくるものー 山本照久(加古川市教育委員会)
		2A-07	エネルギー教育モデル校(武生一中)の取り組みⅡ 竹澤秀之(越前市武生第一中学校)
		2A-08	理科における高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する教材開発と授業実践 ○波照間生子(南城市立大里中学校)、濱田栄作、比嘉絵美奈、清水洋一(琉球大学)
		2A-09	知・情・意の調和がとれたエネルギー環境教育の展開ー第1回大会からこれまでの実践を振り返るー 石川直彦(練馬区立関町小学校)
B会場	課題3 ① 学校と家庭、地域が取り組むエネルギー環境教育	9:30～10:50 座長:熊野善介(静岡大)	
		2B-01	社会に開かれたカリキュラム編成とその実践～エネルギー教育モデル校事業を通して～ 羽川昌廣(大阪市立東粉浜小学校)
		2B-02	エネルギーについて自己判断力がもてる生徒の育成を目指してー日立市立助川中学校での取り組みからー 齋藤利行(日立市立助川中学校)
		2B-03	原子力発電所立地地域の中学生が原子力災害を想定したときに行う行動の判断ー中学3年生への実態調査を通してー ○栢野彰秀(島根大学)、森健一郎(北海道教育大学釧路校)、高橋弾(釧路市立幣舞中学校)、野崎朝之、大山朋江、園山裕之(島根大学教育学部附属中学校)
		2B-04	原子力発電所非立地地域の中学生が原子力災害を想定したときに行う行動の判断ー中学校第3学年への実態調査からー ○森健一郎(北海道教育大学釧路校)、高橋弾(釧路市立幣舞中学校)、野崎朝之、大山朋江、園山裕之(島根大学教育学部附属中学校)、栢野彰秀(島根大学)

B会場	課題3 ② 学校と家庭、地域が取り組む エネルギー環境教育	11:00～12:40		座長：栢野彰秀（島根大）	
		2B-05	福井理科教育研究会の取り組みー放射線・防災学習モデルの実践ー	○大磯眞一（原子力安全システム研究所）、小鍛冶優（志比小学校）、葛生伸（福井大学）	
		2B-06	放射線・防災学習モデルの作成 ～特に原子力防災訓練の実際～	○小鍛冶優（志比小学校）、木子雅之（美浜町立美浜東小学校）、橋場隆（美浜町エネルギー環境教育体験館）、葛生伸（福井大が）	
		2B-07	ものづくりからアプローチするエネルギー環境教育ー小中学生のためのエネルギー活用作品コンテストの取り組みを通してー	平岡信之（京都教育大学附属桃山小学校）	
		2B-08	御前崎市教育委員会・静岡大学・企業が連携・協働したエネルギー環境教育開発ー子どもたちがエネルギー環境問題に主体的に挑戦する地域づくりを目指してー	熊野善介（静岡大学創造科学技術大学院・教育学部）	
		2B-09	地域一体で取り組むエネルギー環境教育	松宮史朗（美浜町立美浜中学校）	
C会場	授業実践③	9:30～10:50		座長：島崎洋一（山梨大）	
		2C-01	中学校技術科におけるエネルギー環境教育の実践	飛島耕輔（釧路市立春採中学校）	
		2C-02	公開授業「地球温暖化の仕組みを考える」を実践して	壺井宏泰（兵庫県立北須磨高等学校）	
		2C-03	カーボンニュートラル概念獲得教材の開発	○長南幸安（弘前大学教育学部）、原田拓真（弘前大学大学院教育学研究科）、勝川健三、川村梓（弘前大学教育学部）	
		2C-04	「きいぱす」での体験と学校での学びの接続を考える	貫井貴史（美浜町立美浜東小学校）	
	調査・評価③	11:00～12:20		座長：畑中敏伸（東邦大）	
		2C-05	新学習指導要領に基づく高等学校教科書のエネルギー・環境・原子力・放射線関連記述の調査と提言ー地理歴史科・公民科の調査ー	○若杉和彦、松永一郎（SNW）、工藤和彦（九州大学）	
		2C-06	新学習指導要領から考えられるエネルギー環境教育	○平野江美（奈良教育大学附属小学校）、榊原典子、山下宏文（京都教育大学）	
		2C-07	テキストマイニングによる1964年のライフスタイルの要点抽出	島崎洋一（山梨大学）	
		2C-08	中国地域におけるエネルギー環境教育の普及ーハンガリーとの比較を通したー考察ー	○田中春彦（中国地域エネルギー環境教育研究会）、桜井正治（中国地域エネルギーフォーラム）	

D会場

ワークショップ

9:30～10:30		
WS-01	中高生のための鈴木－宮浦クロスカップリング反応と化学発光教材の実用化	○清水脩平(福井大学大学院教育学研究科)、浅原雅浩、青山絹代(福井大学教育学部)
WS-02	シャボン玉爆鳴器の開発 ～水素社会の実現に向けて～	○若松巧倫(ケニス株式会社)、道家瑞穂、塚平恒雄(早稲田摂陵中学校・高等学校)
9:30～10:50		
WS-03	学校現場における継続した放射線教育の実現に向けて－ケーススタディを題材に－	○掛布智久(JSF)、藤本登(長崎大学)
10:50～11:50		
WS-04	生活の中「熱とエネルギー」を理解するための実験教材と説明方法－教材開発や説明方法考案の考え方と実践のスタンス－	葛生伸(福井大学)
10:50～12:40		
WS-05	環境政策ゲーム「キープクール」の教育利用可能性－学校におけるエネルギー教育への活用を視野に－	加藤太一(日本科学技術振興財団)、杉浦淳吉(慶應義塾大学)
WS-06	放射線基礎知識とディスカッション－「みゆカフェ」で知識を使って考える、能動型学習－	幸浩子(京都大学大学院エネルギー科学研究科)

日本エネルギー環境教育学会第12回全国大会

一般講演会場・時間・セッション名・座長一覧

	S会場 きいばすホール	A会場 きいばすラボ	B会場 工作室	C会場 情報ライブラリー	D会場 実験室	E会場 スタッフ室
8/19 (土)		9:30～10:30 調査・評価① 清水洋一 (琉球大)	9:30～10:30 教材開発① 寺木秀一 (新潟薬科大)	9:30～10:30 カリキュラム 八田章光 (高知工科大)	9:30～10:30 授業実践① 小鍛冶優 (志比小)	
		10:40～11:40 調査・評価② 今村哲史 (山形大)	10:40～12:00 教材開発② 月僧秀弥 (丸岡南中)	10:40～12:00 普及活動 出口 憲 (常葉大)	10:40～12:00 授業実践② 石川直彦 (関町小)	
	12:00～13:00 昼食					12:05～12:50 理事会
	13:00～13:50 総会					
	14:00～15:50 特別講演・基調講演 葛生伸 (福井大)					
	16:00～17:30 パネル討論会 安藤雅之 (常葉大)					

	S会場 きいばすホール	A会場 きいばすラボ	B会場 工作室	C会場 情報ライブラリー	D会場 実験室	E会場 スタッフ室
8/20 (日)	9:30～10:50 課題1-① 澁澤文隆 (帝京大)	9:30～10:50 課題2-① 山本照久 (加古川市教委)	9:30～10:50 課題3-① 熊野善介 (静岡大)	9:30～10:50 授業実践③ 島崎洋一 (山梨大)	9:30～10:50 ワークショップ ①～③	
	11:00～12:20 課題1-② 萱野貴広 (静岡大)	11:00～12:40 課題2-② 藤本 登 (長崎大)	11:00～12:40 課題3-② 栢野彰秀 (島根大)	11:00～12:20 調査・評価③ 畑中敏伸 (東邦大)	10:50～12:40 ワークショップ ④～⑥	
		12:45～13:10 広報委員会/ 国際交流委員会	12:45～13:10 編集委員会/ 企画調査委員会	12:45～13:10 実践委員会	12:25～13:10 昼食	
	発電所見学会(13:30～15:00) ・美浜発電所 ・もんじゅ			きいばすの 自由見学 (～15:00)		

参加者へのお願い

- 1) 会場では、受付でお渡しした名札（兼参加証）を必ず着用してください。
- 2) 喫煙は、決められた喫煙所（1 階エントランス北側通用口外）をご利用ください。
- 3) エアコンの温度はおおよそ 26℃を目安に設定します。クールビズなど軽装での参加をお願いします。
- 4) 昼食や休憩のため 2 階に休憩エリア（和室、キッズルーム、調理実習室）を用意しています。簡単な飲み物等も準備していますのでご利用ください。なお、整理整頓、ごみの回収等にご協力をお願いいたします。

口頭発表要領

各会場には、パソコンとプロジェクターを用意しています。プレゼンテーションは以下のいずれかの PC とプロジェクターを用いて発表してください。

A. 会場に用意されているパソコンを利用する場合

- 1) 使用ソフト：Powerpoint2016（一部 Powerpoint2010）
- 2) 利用媒体：USB メモリ
- 3) パソコンへのコピー：講演番号を入れたファイル名でデスクトップにコピーしてください。
- 4) 動作確認：セッション前の休憩時間中にコピーして動作確認を行ってください。スムーズな発表のためにご協力をお願いいたします。
- 5) ファイルの消去：学会終了後に消去いたします。

B. パソコンを持ち込む場合

- 1) 会場の HDMI ケーブルでプロジェクターに接続できます。
- 2) 動画を使用する場合は、トラブル防止のためにパソコンの持ち込みを推奨いたします。
- 3) 動作確認：セッション前の休憩時間中に必ず動作確認を行ってください。スムーズな発表のためにご協力をお願いいたします。

発表時間の厳守

発表時間

講演 15 分＋質疑応答 5 分（交替時間を含む）

次の発表者はすみやかに発表できるように準備をお願いいたします。

時間厳守をお願いいたします。

【座長にお願い】

質疑応答を含め、20 分以内でお願いいたします。20 分以上を経過した場合は、発表途中でも打ち切ってください。

日本エネルギー環境教育学会第12回全国大会
「地域の特性・教育資源を活かしたエネルギー環境教育」

日 時 平成29年8月19日(土) … 研究発表、特別講演、基調講演、パネル討論会、情報交換会
20日(日) … 研究発表、ワークショップ、発電所見学会
21日(月) … 体験型見学会

会 場 美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」(〒919-1201 福井県三方郡美浜町丹生 62-1)

特 別 講 演 「恐竜博物館と学校教育のかかわり」
福井大学大学院教育学研究科教職開発専攻 准教授 小島 啓市 氏

基 調 講 演 「見える水、見えない水を通した里山・里地・里海のつながり」
福井県立大学 海洋生物資源臨海研究センター センター長・教授 富永 修 氏

パネル討論会 テーマ「地域の特性・施設を活かしたエネルギー環境教育」
常葉大学大学院初等教育高度実践研究科 教授 安藤 雅之 氏 (コーディネーター)
福井県美浜町立美浜東小学校 校長 木子 雅之 氏
静岡県島田市立第二中学校 教諭 土屋 善之 氏
若狭三方縄文博物館 学芸員 小島 秀彰 氏
美浜町エネルギー環境教育体験館 専門員 大野 豊 氏

情 報 交 換 会 美浜町エネルギー環境教育体験館内 参加費：4,000 円

発電所見学会 関西電力(株)美浜発電所(加圧水型原子炉)、日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅ

体験型見学会 きいぱすと地域との連携の可能性を体験するコース
若狭美浜はあとふる体験(早朝の大敷網)、きいぱすプログラム体験
三方五湖レインボーライン視察、若狭三方縄文博物館

大会参加費 一般・団体会員： 早期割引4,000 円、通常5,000 円
一般非会員： 早期割引5,000 円、通常6,000 円
学生：2,000 円
福井県の学校教員(学会員を含む)：3,000 円

主 催 日本エネルギー環境教育学会(第12回全国大会実行委員会)

後 援 文部科学省、経済産業省、環境省、福井県美浜町、福井観光コンベンションビューロー
日本エネルギー学会、環境科学会 日本原子力学会、電気事業連合会、福井県教育委員会
美浜町教育委員会、福井大学 福井県立大学、福井工業大学、仁愛大学

大会事務局(現地実行委員会) 福井大学大学院工学研究科 物理工学専攻(担当：葛生伸)
〒910-8507 福井市文京3-9-1
TEL/FAX：0776-27-8664 E-mail：kuzuu@u-fukui.ac.jp

学会事務局 静岡大学教育学部 理科教育教室内(担当：萱野貴広)
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
Tel：080-4548-8360、E-mail：jaeee@jaeee.jp

きいばすアクセスマップ



シャトルバス

敦賀駅および美浜駅ときいばすの間でシャトルバス運行

公共交通機関

JR 北陸本線「敦賀」駅下車

- ・タクシー約 45 分
- ・路線バス「白木」行き「丹生学校前」下車すぐ

JR 小浜線「美浜」駅

- ・タクシー約 25 分

お車

- ・北陸自動車道「敦賀 I.C.」から約 30 分
- ・舞鶴若狭自動車道「若狭美浜 I.C.」から約 25 分

美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」

〒919-1201 福井県三方郡美浜町丹生 62-1

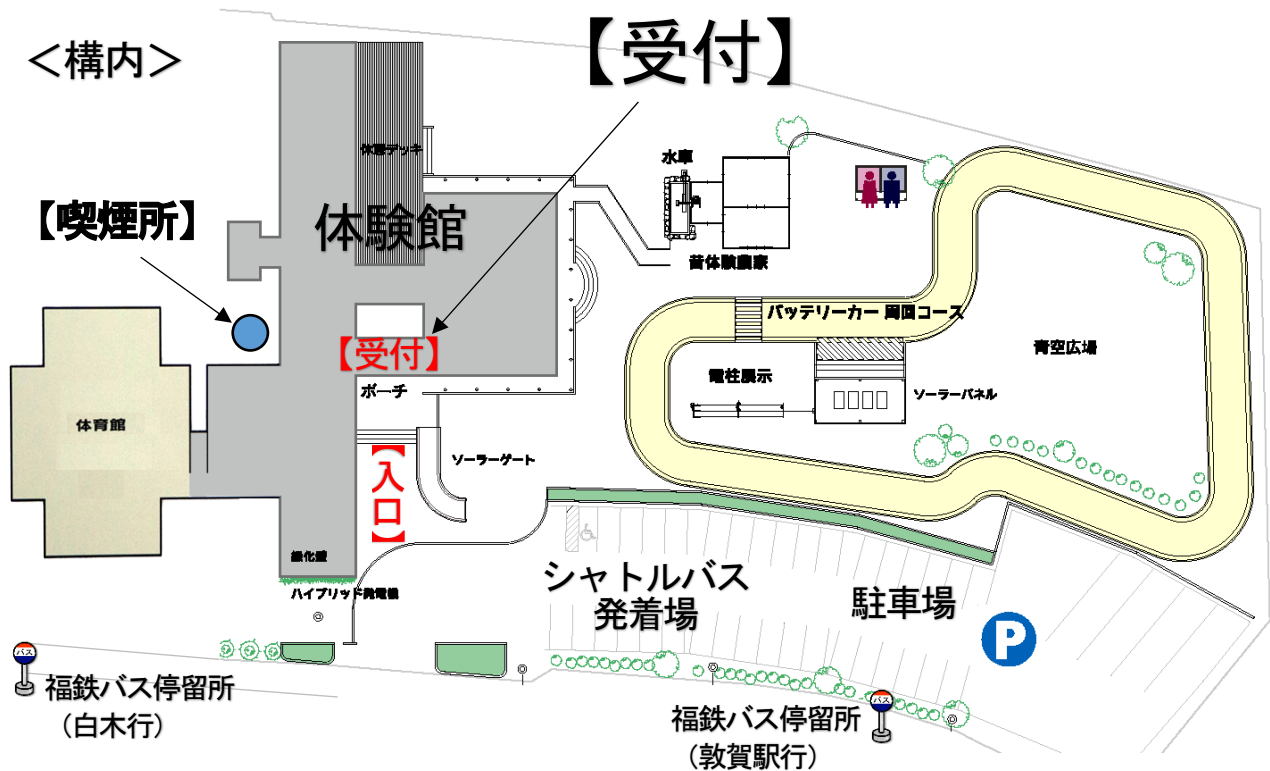
TEL:0770-39-1116 FAX:0770-39-1117 <http://www.mihama-eee.jp>

シャトルバス・路線バスの利用については
「バス路線と運行時刻」を参照してください。

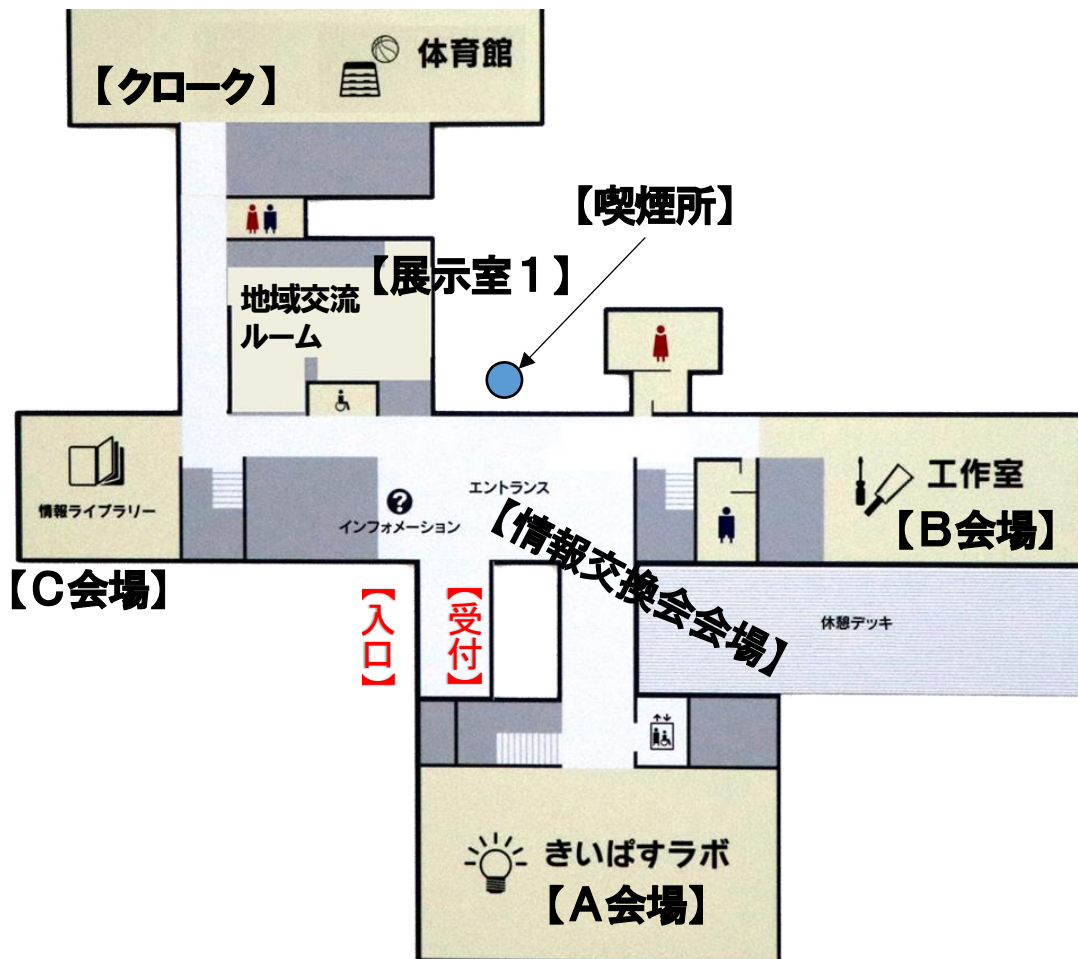
きいばす周辺マップ



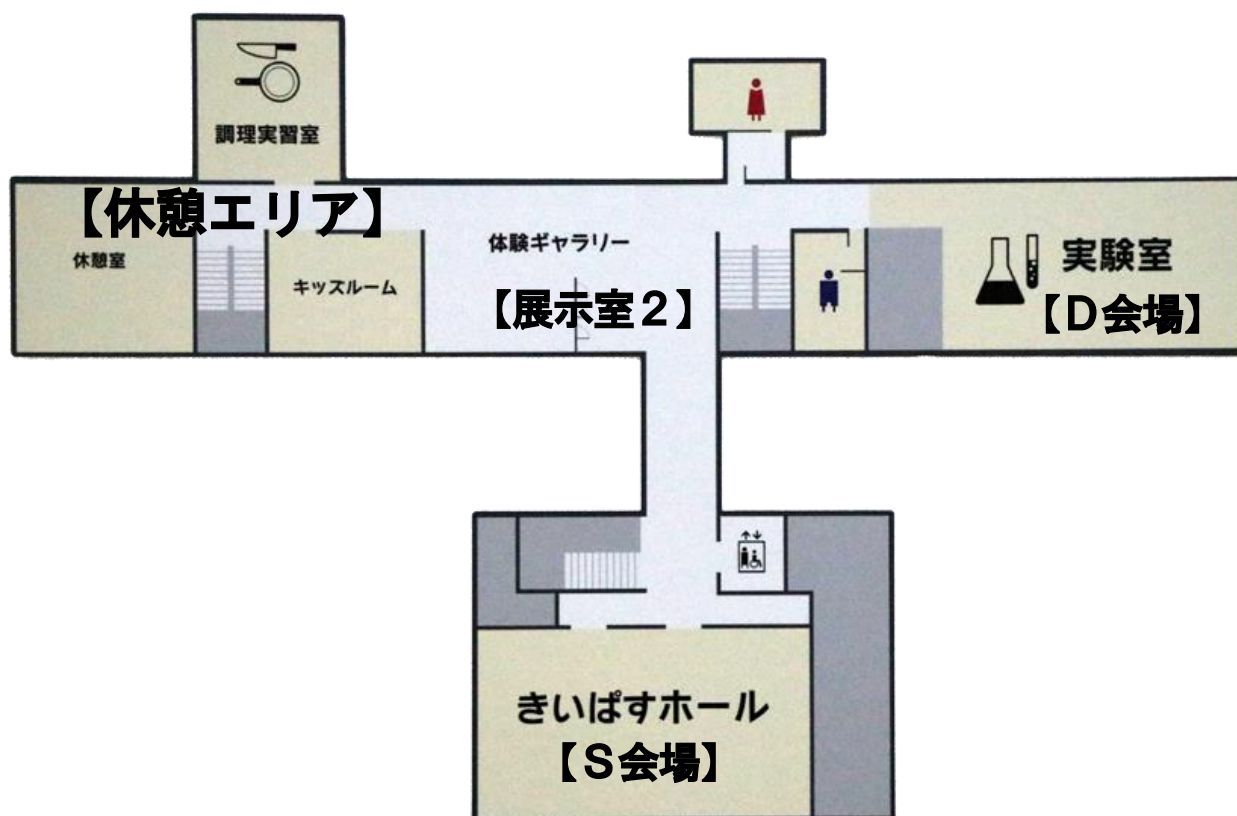
きいばす構内・館内マップ



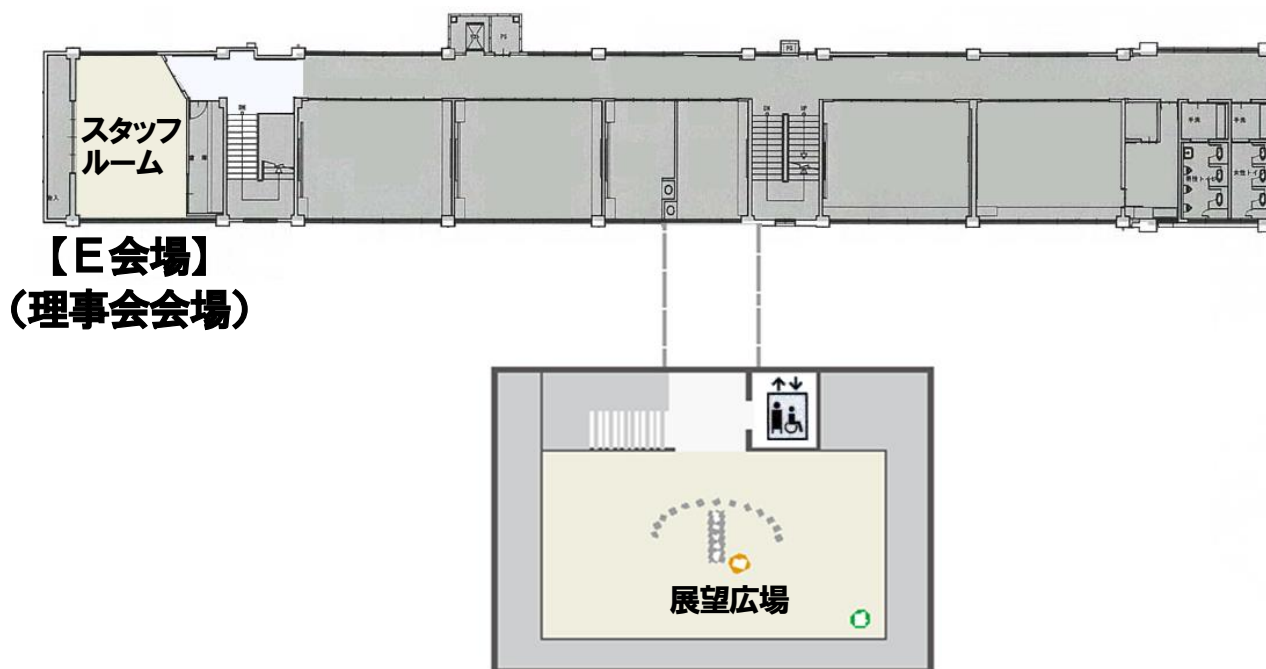
< 1 階 >



< 2階 >



< 3階 >



協贊・廣告・展示

協賛

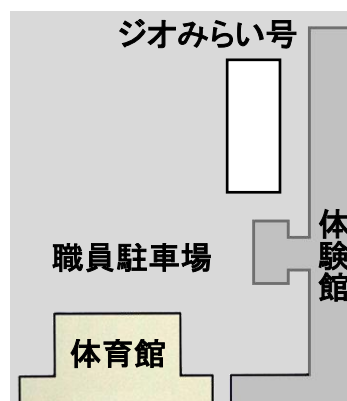
福井観光コンベンションビューロー
一般財団法人石炭エネルギーセンター
石油連盟
一般社団法人日本ガス協会
電気事業連合会

廣告

一般社団法人日本電気協会（電気新聞）
日本LPガス団体協議会
日本ガス協会
石油連盟
日本科学技術振興財団
ケニス株式会社
(株)新興出版社啓林館
大日本図書株式会社
東京書籍株式会社
株式会社サンルックス
福井県美浜町、美浜町エネルギー環境教育体験館

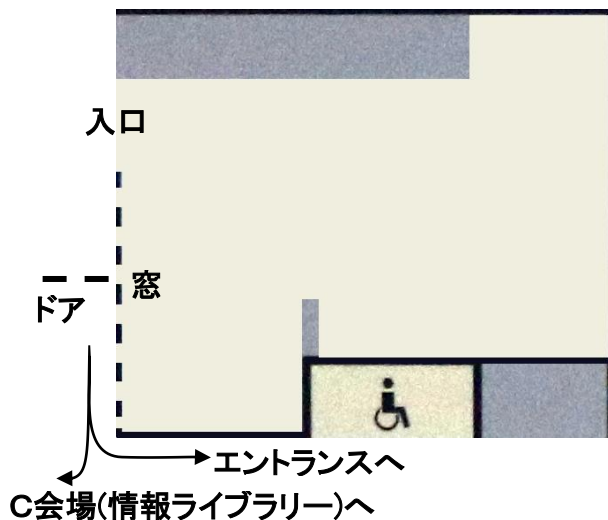
展示

福井観光コンベンションビューロー
美浜町観光協会
一般社団法人日本電気協会（電気新聞）
石油連盟
電気事業連合会
一般財団法人石炭エネルギーセンター
日本ガス協会
公益財団法人日本科学技術振興財団
一般社団法人新・エネルギー環境教育情報センター
原子力発電環境整備機構
ケニス株式会社
株式会社サンルックス
株式会社島津理化

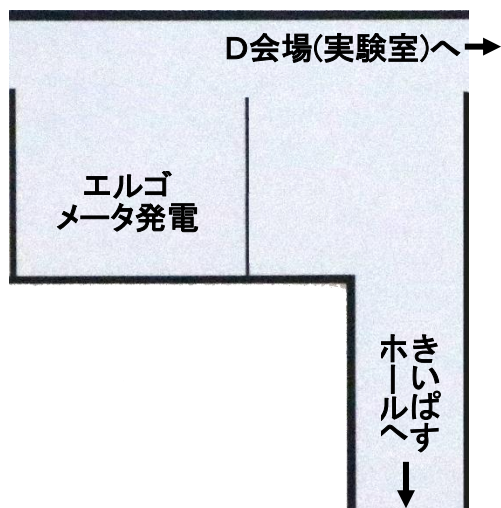


展示室

展示室 1 (1 階地域交流ルーム)



展示室2 (2階体験ギャラリー)



発電所見学会

■見学には事前の申し込みが必要です。当日の受付はできません。

■身分証明書：当日は、本人確認のため運転免許証を必ずご持参ください
(運転免許証を所有されていない方、外国籍の方は、事務局に確認した書類等を持参ください)。
当日、本人確認ができない場合、見学をお断りすることになります。

【関西電力㈱美浜発電所（加圧水型原子炉）見学会】

日時：8月20日（日）13:30～15:00

集合場所：美浜PRセンター受付（13時25分頃までに徒歩でご集合ください（きいばすから約300m）。）

スケジュール（所要時間90分間）

- | | |
|----------------------------|-----|
| ① PRセンターホールでの説明（ビデオ、スライド等） | 40分 |
| ② PRセンター展示物見学（自由） | 10分 |
| ③ 発電所構内見学（関電バスで） | 40分 |

終了後の移動

丹生方面：徒歩できいばすへお戻りください。15:20に丹生行きのシャトルバスが出ます。

敦賀・美浜方面：県道を挟んでPRセンター向い側のバス停（福鉄バス停留所名：丹生大橋）でお待ちください。きいばす15:20発及び15:30発のシャトルバス⑦～⑨が立ち寄ります。



- ・道がカーブして見通しが悪くなっています。必ず横断歩道を渡ってバス停に向かってください。
- ・停車用のスペースがないバス停です。安全のため歩道に整列して、速やかに乗車してください。

【日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅ見学会】

日時：8月20日（日）13:30～15:00

集合場所：きいばす玄関前、もんじゅ手配のバスに乗車。
(13時15分までにご集合ください)

スケジュール（現地所要時間90分間）

- | | |
|---------------------------|-----|
| 移動（もんじゅ手配のバスで移動、13:15頃出発） | 10分 |
| ① 情報棟での説明（スライド、展示物等） | 30分 |
| ② ナトリウム棟での説明 | 20分 |
| ③ もんじゅ構内見学（もんじゅバスで） | 40分 |

終了後の移動

もんじゅ15:10発敦賀行きのシャトルバス⑦が迎えにきています。これにご乗車ください。この便はきいばすに着いたあと、敦賀駅に向かいます。美浜駅又は丹生方面へ行かれる方は、きいばすバス停留所（福鉄バス「丹生学校前」）で下車し、次に示すシャトルバスに乗り換えてください。

- ・敦賀方面：敦賀駅までそのままご乗車ください。
- ・美浜方面：きいばすバス停留所（福鉄バス「丹生学校前」）で下車し、きいばす15:20の美浜駅経由敦賀行きのシャトルバス⑧（きいばす駐車場内）に、乗り換えてください。
- ・丹生方面：きいばすバス停留所（福鉄バス「丹生学校前」）で下車し、きいばす15:20の丹生行きのシャトルバス⑨（きいばす駐車場内）に、乗り換えてください。



体験型見学会

催行日：8月21日（月）

参加費：昼食費として800円（昼食が不要な方は無料）

体験見学先と定員

体験見学先	内容	定員	施設のホームページ
若狭美浜はあとふる体験	早朝の大敷網体験	30名	https://heartful-mihama.wixsite.com/mihama
きいばす	プログラム体験	45名	http://www.mihama-eee.jp/
三方五湖レインボーライン	視察		http://www.mikatagoko.com/
若狭三方縄文博物館	視察		https://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/jomon/

注. 天候によっては早朝の大敷網体験が中止となる場合があります。また、天候、道路状況によっては、その他の見学先の行程も変更する場合がありますのでご了承ください。

体験前日（8月20日）の宿泊

- ・若狭美浜はあとふる体験（早朝の大敷網）を選択された方：

出発港に近い**丹生地区に宿泊する必要があります**。はあとふる体験を申し込みをいただくと、全国大会実行委員会事務局から丹生観光協会（<http://www1.kl.mmnet-ai.ne.jp/~nyu/stay.html>）に連絡し、宿泊先の選定を依頼します。

- ・若狭美浜はあとふる体験（早朝の大敷網）を選択されない方：

丹生地区だけでなく、敦賀市内で宿泊されても参加可能です。8月21日の朝、2番目の体験であるきいばすプログラムに間に合うように、敦賀駅からきいばす行きのバスを用意いたします。

申し込みパターン

次の参加パターンで分割申し込みが可能です。なお、「昼食とそれ以降」のみの参加はできません。

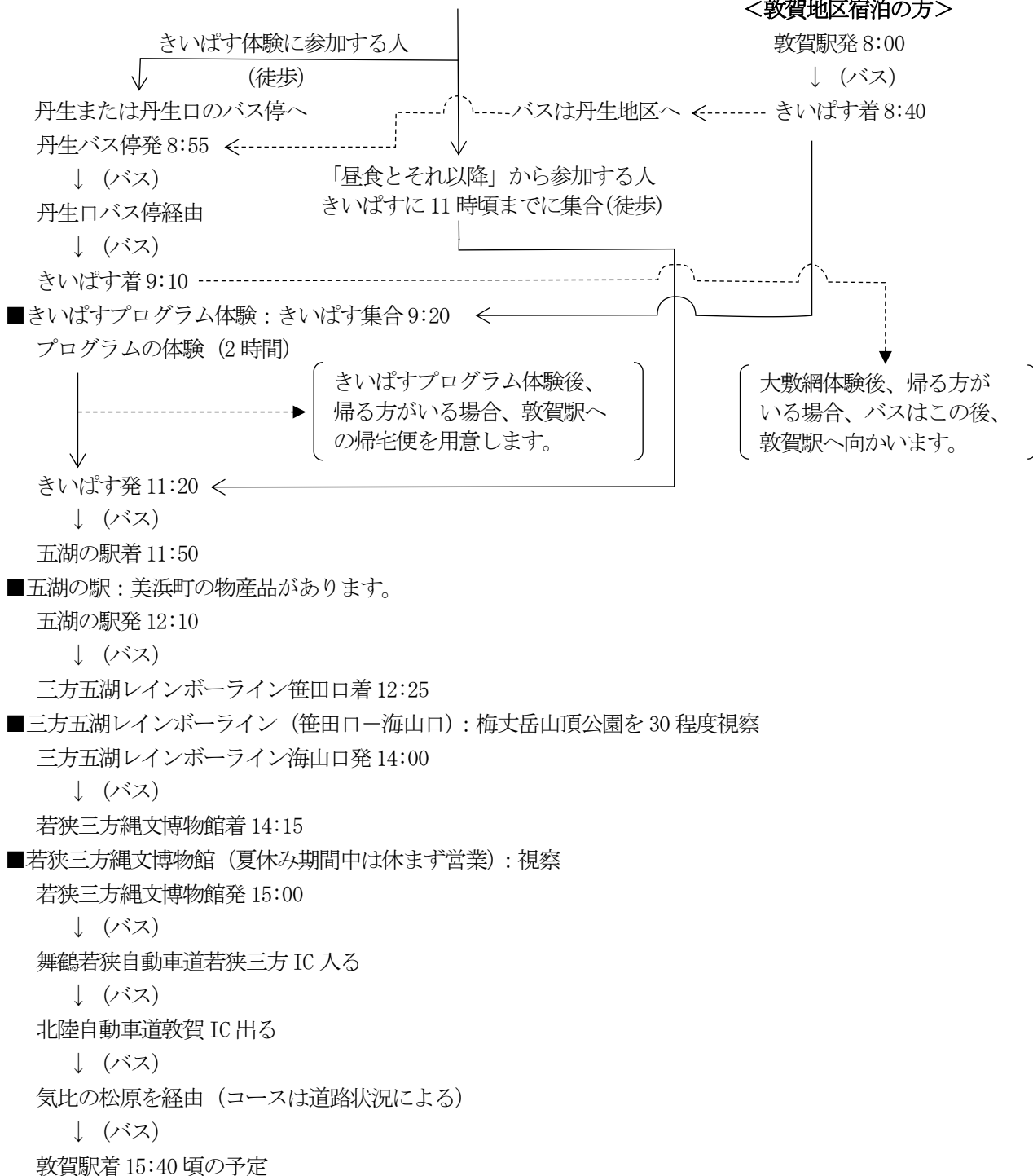
	体験見学先	大敷網体験	きいばす体験	昼食とそれ以降	備考
参加パターン	① 全部参加	○	○	○	丹生地区に宿泊要、参加費800円
	② 大敷網ときいばす	○	○	×	丹生地区に宿泊要、参加無料 きいばす体験後敦賀便に乗車要
	③ 大敷網と昼以降	○	×	○	丹生地区に宿泊要、参加費800円 宿泊先からきいばすまでは徒歩
	④ 大敷網のみ	○	×	×	丹生地区に宿泊要、参加無料 体験後は丹生からきいばす経由で敦賀に向かうバスに乗車要
	⑤ きいばすと昼以降	×	○	○	敦賀市内宿泊でも参加可能 参加費800円
	⑥ きいばすのみ	×	○	×	敦賀市内宿泊でも参加可能 参加無料 きいばす体験後敦賀便に乗車要

行 程

<丹生地区宿泊で、はあとふる体験に参加の方>

- 大敷網体験(約2時間)：04:00 丹生公会堂集合(徒歩) 4:30頃までには丹生港出港 => 大敷網体験 => 丹生港帰着(6:00~7:00) = (徒歩) => 宿泊先(朝食)

<敦賀地区宿泊の方>



体験見学の概要、注意事項

早朝の大敷網体験 <https://heartful-mihama.wixsite.com/mihama>

大敷網漁の漁船に乗り、漁師と一緒に網を引く漁業体験。

1回の体験時間：2時間

用意するもの・服装：動きやすく汚れてもいい服装、タオル・エプロン

きいばすプログラム体験 <http://www.mihama-eee.jp/>

中学1年生用プログラム「エネルギーの形態」を予定（変更する場合があります）

1回の体験時間：1.5時間

用意するもの・筆記用具

三方五湖レインボーライン <http://www.mikatagoko.com/>

全長 11.24km の有料道路。途中の梅丈岳の山頂公園から、ラムサール条約に登録された三方五湖が一望できる。

若狭三方縄文博物館 <https://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/jomon/>

若狭町の鳥浜貝塚の出土遺物や水月湖年縞を展示紹介する施設。年縞には過去の気候変動や植生変化などに関わる重要な情報が含まれており、若狭三方縄文博物館にはその実物が展示されている。

＜移動ルート図＞

